

<全体分析>

試験時間 90 分

解答形式

大論述が1問(600字), その他の論述が2問(100字・30字), 単語記述問題が20問, 記号問題が4問。

分量・難易(前年比較)

分量(減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易(易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

大問〔1〕では, 文字数が550字から600字に増加。〔2〕小論述は170字・130字から100字・30字に変更。

新課程を踏まえた出題

歴史総合の分野からの出題が見られた。

その他トピックス

第1問の大論述は字数が増加傾向, 第2問の小論述は字数が減少傾向にある。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔1〕	論述 (600字) (30点)	1世紀から17世紀頃までのインド洋交易の変遷	地域的・時系列的に整理して書く知識と技術が求められる。また, 600字という字数を考えれば, きちんと字数を管理して書く必要がある。	難
〔2〕	論述 (100字・30字) 単答形式(9)・記号(2) (40点)	ドラゴンを題材とした3つの資料からの出題	3つの資料を使つての問題。単答問題は, 古代から近代に関する問題。小論述2題は, 宗教改革と日露戦争のポーツマス条約を扱っている。後者は歴史総合の分野で, 日本の状況を述べさせるもの。	標準
〔3〕	記述 単答形式(13問)・記号(2問) (30点)	集団の区分意識に関する問題	古代から現代にかけての単答問題・記号問題。記号問題のうち, 一つは語群より該当のものを複数選び, 時系列にそつて並べ答えさせるもの。また, 歴史総合分野の出題として, 問5では明治期・平成期の日本政府の対アイヌ政策が出題され, 「アイヌ」が解答として求められた。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で, 当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

単答形式の問題は古代から現代まで出題されているので, 教科書などを使って, 全範囲の学習が必要である。また, 小論述は歴史総合の分野からの出題がなされたので, 歴史総合で取り扱う日本史関連の事項についてももしっかり学習したい。大論述では, インド洋の交易についての出題がなされた。単に政治史や経済史のみではなく交易や交流の歴史などについてもきちんと学習しておく必要がある。